



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フェローテック

コード番号 6890 URL <http://www.ferrotec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山村 章

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 山村 丈 TEL 03-3281-8186

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	20,229	0.9	159	-	530	-	694	-
25年3月期第2四半期	20,048	△43.9	△2,153	-	△2,711	-	△6,157	-

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 4,477百万円 (-%) 25年3月期第2四半期 △5,869百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	22.53	-
25年3月期第2四半期	△199.88	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	73,144	34,762	46.5	1,104.12
25年3月期	66,343	30,439	44.9	966.10

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 34,018百万円 25年3月期 29,765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	9.3	1,000	-	850	-	1,000	-	32.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	30,903,702株	25年3月期	30,903,702株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	93,424株	25年3月期	93,424株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	30,810,278株	25年3月期2Q	30,805,959株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州経済は底堅く安定しており、米国経済は景気回復が順調なことから、概ね堅調に推移しています。一方、新興国の経済成長はやや鈍化したものの底堅く推移しています。

わが国におきましては、金融緩和策や経済政策の発表により、個人消費や企業生産活動の増加など景況感も徐々に戻りつつあり、日銀の地域経済報告では景気判断を上げました。また、外国為替市場で円安基調が続いたことから、企業活動に好転の兆しが見えてまいりました。

当社グループの属するエレクトロニクス産業では、半導体・FPD業界はタブレット型パソコン（PC）や有機ELパネル用の設備投資が一部で行われました。アジアを中心としたスマートフォンやタブレット型PCなどの需要が旺盛であり、デバイスメーカー各社の設備稼働率の上昇が見られました。太陽電池産業では、太陽電池パネルの低価格化により、太陽電池パネルの設置量は、日本・米国・中国を中心にメガソーラーや住宅への設置が広がっております。

このような事業環境のなか、当社グループの装置関連事業におきましては、各製品の販売を日米のほか、中国、台湾、韓国のアジア市場を中心に営業活動を行っており、一般産業用機器など各方面に対しても、積極的に営業展開を行っております。太陽電池関連事業におきましては、太陽電池用シリコン製品は国内ユーザーを中心に引き合いが増えております。電子デバイス事業におきましては、主力のサーモモジュールが自動車温調シート向けの売上が増加に転じ、民生用途や高性能製品も堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は20,229百万円（前年同期比0.9%増）、連結営業利益は159百万円（前年同期は2,153百万円の営業損失）の黒字転換となり、為替市場での円安基調が継続したことから為替差益を営業外収益に計上しましたが、前年度より実施しております事業構造改革において、太陽電池関連事業縮小に伴う追加発生費用を営業外費用に計上したため、連結経常利益は530百万円（前年同期は2,711百万円の経常損失）となり、連結四半期純利益は694百万円（前年同期は6,157百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントにつきましては、製品用途の類似性と販売先業種により区分し、「装置関連事業」、「太陽電池関連事業」および「電子デバイス事業」の3区分を報告セグメントとして分類しております。

セグメントの状況は以下のとおりです。

(装置関連事業)

当該事業の主な製品は、真空シール、石英製品、セラミックス製品、シリコンウエーハ加工などです。

石英製品、セラミックス製品など製造プロセスに使用されるマテリアル製品は、スマートフォン用メモリやロジック系の設備稼働の上昇で需要の増加はありましたが、値下げ要求が厳しく売上高の伸びは限定的でした。また、認定用評価品を多数提供したことから、利益を圧迫しました。各種製造装置に使用される真空シールは、FPD向けの設備投資が一巡し、半導体向けの設備投資が一部で延期されたことから軟調に推移しました。シリコンウエーハ加工は、総じて底堅く推移しました。

この結果、当該事業の売上高は10,189百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は77百万円（前年同期比45.0%減）となりました。

(太陽電池関連事業)

当該事業の主な製品は、シリコン結晶製造装置、シリコン製品、石英坩堝、角槽などです。

太陽電池産業は、中国・日本・米国市場への太陽電池パネル設置量が伸び、中国や台湾パネルメーカーの経営統合や企業淘汰が進み、市場環境は落ち着きを取り戻しつつあります。しかし、新規の製造装置需要はなく、消耗品である石英坩堝や角槽は、回復の兆しはあるものの総じて低調な売上高となりました。シリコン製品をOEM特化した結果、国内・台湾ユーザーからの引き合いが増加し、徐々に受注に結びついております。

この結果、当該事業の売上高は5,680百万円（前年同期比19.1%減）、営業損失は111百万円（前年同期は2,393百万円の営業損失）となりましたが、当第2四半期連結会計期間では57百万円の営業利益となりました。

(電子デバイス事業)

当該事業の主な製品は、サーモモジュール、磁性流体などです。

主力の自動車温調シート向けサーモモジュールは、自動車販売が好調に推移し特に米国市場においては、温調シートが搭載される高級セダンやSUV向けの採用が増加いたしました。その他、検査装置、バイオ関連機器が総じて底堅く推移し、加えて、美容家電や浄水器サーバーなど民生分野の販売を広げました。

磁性流体も、超高精細4Kテレビやフィッシング用リール向けなどに採用され堅調に推移しました。

この結果、当該事業の売上高は2,801百万円（前年同期比27.6%増）、営業利益は249百万円（前年同期比115.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

<資産>

当第2四半期連結会計期間末の資産は前連結会計年度末と比べ6,800百万円増加し、73,144百万円となりました。これは主に有形固定資産2,608百万円と商品及び製品1,332百万円の増加によるものであります。

<負債>

当第2四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末と比べ2,477百万円増加し、38,382百万円となりました。これは主に短期借入金2,387百万円の増加によるものであります。

<純資産>

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ4,323百万円増加し、34,762百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定3,995百万円の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ841百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には8,215百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は2,013百万円（前年同期は157百万円の使用）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益1,182百万円、売上債権の減少額3,430百万円、減価償却費1,981百万円の一方で、たな卸資産の増加額942百万円、貸倒引当金の減少額936百万円、仕入債務の減少額932百万円によるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は1,761百万円（前年同期比263百万円減）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出1,640百万円によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果得られた資金は115百万円（前年同期は71百万円の使用）となりました。これは主として、短期借入金の増加額1,579百万円、長期借入れによる収入300百万円の一方で、長期借入金の返済による支出1,573百万円、配当金の支払額152百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年8月12日に公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,373,137	8,215,034
受取手形及び売掛金	15,235,769	15,537,312
商品及び製品	3,194,236	4,526,884
仕掛品	1,537,942	2,174,103
原材料及び貯蔵品	4,805,641	4,904,174
その他	2,710,532	4,508,104
貸倒引当金	△585,843	△700,547
流動資産合計	34,271,417	39,165,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,409,144	5,865,688
機械装置及び運搬具（純額）	10,165,156	11,831,486
工具、器具及び備品（純額）	5,980,249	6,519,893
土地	704,841	700,509
リース資産（純額）	196,474	177,274
建設仮勘定	2,459,086	2,428,845
有形固定資産合計	24,914,953	27,523,696
無形固定資産		
のれん	769,080	630,722
その他	914,423	954,992
無形固定資産合計	1,683,503	1,585,714
投資その他の資産		
その他	6,607,342	5,180,088
貸倒引当金	△1,133,396	△310,008
投資その他の資産合計	5,473,945	4,870,080
固定資産合計	32,072,403	33,979,491
資産合計	66,343,820	73,144,557

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,554,171	9,405,527
短期借入金	9,667,074	12,055,014
1年内返済予定の長期借入金	2,867,179	2,691,698
未払法人税等	155,833	158,309
賞与引当金	440,590	472,274
事業構造改革引当金	1,579,191	2,041,866
その他	3,979,796	4,059,446
流動負債合計	27,243,838	30,884,136
固定負債		
長期借入金	5,836,240	4,822,768
退職給付引当金	66,062	54,364
役員退職慰労引当金	54,920	58,020
資産除去債務	81,075	81,467
その他	2,622,517	2,481,544
固定負債合計	8,660,815	7,498,165
負債合計	35,904,653	38,382,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,201,346	13,201,346
資本剰余金	13,803,253	13,803,253
利益剰余金	2,448,093	2,988,079
自己株式	△86,355	△86,355
株主資本合計	29,366,338	29,906,324
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325,199	42,144
為替換算調整勘定	74,219	4,069,684
その他の包括利益累計額合計	399,418	4,111,828
少数株主持分	673,410	744,102
純資産合計	30,439,166	34,762,255
負債純資産合計	66,343,820	73,144,557

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	20,048,724	20,229,208
売上原価	16,413,595	15,189,161
売上総利益	3,635,128	5,040,047
販売費及び一般管理費	5,788,771	4,880,975
営業利益又は営業損失(△)	△2,153,642	159,071
営業外収益		
受取利息	16,946	12,018
為替差益	—	1,100,865
その他	69,838	144,658
営業外収益合計	86,785	1,257,542
営業外費用		
支払利息	322,559	300,725
支払手数料	8,990	11,750
為替差損	183,605	—
事業構造改革費用	—	462,675
その他	129,600	111,264
営業外費用合計	644,755	886,414
経常利益又は経常損失(△)	△2,711,612	530,199
特別利益		
投資有価証券売却益	—	645,691
固定資産売却益	3,913	13,524
関係会社株式売却益	75,702	—
特別利益合計	79,615	659,215
特別損失		
固定資産処分損	54,494	5,671
投資有価証券評価損	166,734	887
事業構造改革費用	2,684,288	—
その他	3,750	—
特別損失合計	2,909,267	6,559
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,541,264	1,182,856
法人税等	805,359	480,594
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△6,346,624	702,262
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△189,239	8,224
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,157,384	694,037

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△6,346,624	702,262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,359	△283,055
為替換算調整勘定	515,026	4,030,694
持分法適用会社に対する持分相当額	4,412	27,238
その他の包括利益合計	477,079	3,774,877
四半期包括利益	△5,869,544	4,477,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,694,674	4,406,447
少数株主に係る四半期包括利益	△174,870	70,692

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,541,264	1,182,856
減価償却費	1,573,420	1,981,177
のれん償却額	208,761	212,645
退職給付引当金の増減額(△は減少)	33,868	△11,966
賞与引当金の増減額(△は減少)	△77,177	△22,801
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△37,000	3,100
貸倒引当金の増減額(△は減少)	702,574	△936,209
事業構造改革引当金の増減額(△は減少)	2,396,080	462,674
受取利息及び受取配当金	△19,623	△14,179
支払利息	322,559	300,725
株式交付費	813	—
為替差損益(△は益)	△54,318	△732,743
持分法による投資損益(△は益)	30,269	12,605
固定資産売却損益(△は益)	△3,913	△13,524
固定資産処分損益(△は益)	54,494	5,671
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△645,691
関係会社株式売却損益(△は益)	△75,702	—
投資有価証券評価損益(△は益)	166,734	887
売上債権の増減額(△は増加)	△321,903	3,430,087
たな卸資産の増減額(△は増加)	908,342	△942,814
仕入債務の増減額(△は減少)	△102,220	△932,300
その他	340,485	△744,617
小計	505,280	2,595,581
利息及び配当金の受取額	29,678	29,570
利息の支払額	△326,219	△302,032
法人税等の支払額	△366,022	△309,938
営業活動によるキャッシュ・フロー	△157,283	2,013,181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,820,822	△1,640,741
有形固定資産の売却による収入	14,807	31,769
投資有価証券の取得による支出	△656	△67,528
投資有価証券の売却による収入	—	760,141
関係会社出資金の払込による支出	—	△13,910
貸付けによる支出	△104,292	△799,430
貸付金の回収による収入	93,683	5,079
その他	△207,091	△36,736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,024,371	△1,761,356

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	175,504	1,579,404
長期借入れによる収入	2,000,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△1,572,589	△1,573,778
リース債務の返済による支出	△42,176	△29,916
自己株式の取得による支出	△57	—
配当金の支払額	△607,731	△152,914
少数株主への配当金の支払額	△24,000	△7,673
その他	△813	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,863	115,122
現金及び現金同等物に係る換算差額	153,498	474,949
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,100,020	841,896
現金及び現金同等物の期首残高	9,560,891	7,373,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,460,870	8,215,034

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	装置関 連事業	太陽電池 関連事業	電子デバ イス事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	9,509,849	7,022,819	2,195,697	18,728,366	1,320,358	20,048,724	—	20,048,724
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	138,127	—	—	138,127	—	138,127	△138,127	—
計	9,647,977	7,022,819	2,195,697	18,866,493	1,320,358	20,186,851	△138,127	20,048,724
セグメント利益又 は損失(△)	140,180	△2,393,037	115,731	△2,137,125	20,506	△2,116,618	△37,024	△2,153,642

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、装置部品洗浄、工作機械、表面処理等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△37,024千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費等でありませ

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	装置関 連事業	太陽電池 関連事業	電子デバ イス事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	10,189,744	5,680,528	2,801,833	18,672,107	1,557,101	20,229,208	—	20,229,208
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	24,333	—	—	24,333	—	24,333	△24,333	—
計	10,214,078	5,680,528	2,801,833	18,696,440	1,557,101	20,253,542	△24,333	20,229,208
セグメント利益又 は損失(△)	77,043	△111,700	249,563	214,907	△24,750	190,157	△31,085	159,071

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、装置部品洗浄、工作機械、表面処理等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△31,085千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費等でありませ

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。